

史学委員会歴史認識・歴史教育に関する分科会（第25期・第3回）
議事要旨

日時：2021年12月11日（土）10：00～12：20（オンライン形式）

参加者：〔分科会委員〕栗田禎子、久留島典子、鈴木茂、中村元哉（以上、役員）、
井野瀬久美恵、長志珠絵、大日方純夫、川島真、君島和彦、小嶋茂稔、
久保亨、近藤孝弘、坂井俊樹、佐野正博、辻田淳一郎、姫岡とし子、平
野千果子、星乃治彦、水羽信男、桃木至朗、柳原敏昭、若尾政希（＝以
上、22名）

〔参考人〕小坂至道、田中愛子

〔オブザーバー〕石居人也、河村豊、京樂真帆子、大橋幸泰、永原陽子
（＝以上、いずれも史学委員会中高大歴史教育に関する分科会委員、5名）

議題

（1）前回議事要旨の確認

前回議事要旨の確認を行い、承認された。

（2）第183回総会での議論の状況の紹介、及び今後の活動方針・内容をめぐる 審議

栗田分科会委員長より、2021年12月2日～3日に開催された第183回総会での議論に関して、総会資料「会則改正」および「科学的助言機能・「提言」等の在り方等の見直しについて（案）」に基づき、「提言」発出主体変更や新範疇「見解」創設に伴う会則改正の内容、また意思表出の具体的手続きについては現在検討が進められていること等の説明があった。若尾史学委員会委員長より、関連する補足説明があった。

（3）歴史認識・歴史教育の現状をめぐる事例報告：高等学校の歴史教育の現場から〔参考人：小坂至道氏、田中愛子氏〕

わが国における歴史認識形成・歴史教育の中で重要な位置を占める高校歴史教育の現状につき、2名の参考人〔小坂至道氏（京都立橋中学校・高等学校、社会科主任、資料1）、田中愛子氏（大阪市立東高等学校、主務教諭、資料2）〕より報告・問題提起を頂き、それに基づく意見交換・議論を行なった。

（4）その他

本分科会の今後の活動方針・内容について、意見交換を行った。中高大歴史教育に関する分科会との棲み分けを考慮しつつ、教科書、授業実践、教員

養成、歴史認識形成へのインターネット情報の影響などの課題について、引き続き検討を進めることが確認された。